



市報

そお

特集

83歳の女子高生球児

上中別府チエさん



主な内容

83歳の女子高生球児 …………… 2	お知らせ…………… 22
夢チャレンジ講演&コンサート… 3	そお味しゅらん…………… 25
曾於地区春季畜産共進会…………… 4	健康コラム・せり市結果…………… 27
行政information …………… 6	戸籍の窓…………… 28
話題の広場…………… 18	くらしの情報…………… 29
図書館だより…………… 20	



2014/6/1
vol.108

83歳の女子高生球児



～人間の好奇心は決して枯れない～

上中別府チエさんの「生き方」

「83歳の女子高生球児」で話題の上中別府チエさん。76歳で中学校に入学し、80歳で高校入学。チエさんを突き動かしたものは何だったのかお話しを伺いました。

Q 中学校・高校に入学したきっかけは何ですか
娘が中学生のとき、英語の教科書を見てさっぱり分かりませんでした。負けず嫌いの私は、この時のショックが35年以上たっても心の中にありました。「英語を勉強したい」その一心で中学校に入学しました。
中学校卒業後、「生涯現役」がモットーの私は、隠居暮らしは考えられませんでした。そこで、定時制高校に入学することにしました。

Q 中学・高校時代に辛かったことはありませんか
辛いことは一つもなかったです。戦時中に満足に学べず、学ぶことに對して飢えていました。復習は毎日欠かさず、時間が経つのを忘れるほど楽しかったです。徹底的にやらないと気が済まない性格なんです。



仲間と共に試験前の復習
写真提供：主婦の友社

写真提供：主婦の友社

Q 高校時代の思い出は何ですか
最高の仲間に出会えたことです。父親や母親のいない子、不登校だった子、いじめを受けていた子、それぞれ事情を抱えていました。でも、

私が声をかけると心を開いて、「チエさん」と何でも話してくれました。
野球部員との思い出もいっぱいあります。顧問の先生から潤滑油の役目が入ってくれと頼まれて野球部に入りました。腹を立ててグローブを投げるような子たちが、フェアプレーで試合をするようになりました。そんな部員からホワイトデーに貰ったグローブは大切な宝物です。



仲間から贈られたグローブ

Q 曾於市の子どもたちへメッセージをお願いします
悩みのない人はいないと思います。私は、どんな失敗でも、この程度で終わってよかったと思うようにしています。勉強もスポーツも失敗をしてもいいから、目標を持って諦めずに頑張ってください。

プロフィール

上中別府チエさん 83歳
昭和5年、末吉町南之郷に生まれ、昭和29年結婚。昭和37年に夫の転勤で鹿児島から神奈川県に移住。76歳で中学校、80歳で高校入学。高校時代には野球部に所属し、孫よりも若い球児たちと一緒に汗を流した。



女子プロ野球リーグでの始球式
写真提供：主婦の友社

♪ 曾於市夢チャレンジ講演 & ルナコンサート ♪



上中別府チエさん（左）と孫の松村萌さん（右）



娘のSHIHOさん（左）と麻里絵ルナさん（右）

5月10日、末吉総合センターで「曾於市夢チャレンジ講演&コンサート」が開催されました。

コンサートには、大隅町出身の麻里絵ルナさんが出演。「翼をください」の作曲家である村井邦彦さんが作り上げた「だいじょうぶだから」を含む全9曲を熱唱しました。娘のSHIHOさんとのデュオもあり会場は温かい空気に包まれました。

麻里絵さんは、「地元の皆さんの温かい眼差しを受けて、感極まりました。人生で一番のコンサートになりました」と話しました。

コンサート終了後、上中別府チエさんの「夢チャレンジ講演」が開かれました。

高校生活のDVDが流れ、そこには83歳の「おばあちゃん」ではなく、ひとりの「女子高生」が映し出されていました。毎日を一生懸命に生きるチエさんの姿を見て、涙を流すお客さんもいました。

講演が始まれば、ユーモアあふれたトークで、「できないことを歳のせいにせず、色んなことにチャレンジしてください」と締めくくり、満員となった会場は笑い声と笑顔であふれていました。



力投を披露する上中別府さん



シャンソンを歌う麻里絵さん



サイン会也大盛況でした